

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/02/09号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

続く貴金属の乱高下

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前々週のマーケットが歴史に残る一週間になるはずと書きましたが、前週もまたその余韻は残っており、月曜日にはさらに売られてオープンの4800ドルから4400ドルまで急落しました。しかしその後は上昇、水曜日4日は5000ドルを超えて5092ドルまで上昇しそこから金曜日は4600ドル半ばまで下げたあと、ふたたび4960ドルまで上昇して終わるといふなんとも大きな値幅での動きとなりました。この背景にあるのは昨年からの上昇、特に年初からの短い間に1000ドル以上上げたという上げ過ぎにその修正が簡単には終わらなかったということです。それだけ年初からの上げの背景にはレバレッジをかけたポジションが大きく積み重なっていたのです。29日木曜日につけた歴史的な高値5594ドルから2月2日の4400ドルまでの1200ドル20%の下げに要した時間はわずか2営業日。レバレッジをかけたポジションはマイナスが出ると追い証拠金を納める必要があり、この急速な下げは損切り売りが雪だるまのように膨らんでいった結果でしょう。その最たるものはシルバーですが、それがすべての貴金属に波及したということだと思います。この急落の原因はマーケットの内部要因に帰することができます。FRBの議長指名がその原因としている報道もありますが、そんなことでゴールドが1200ドルも下げることはありえません。それは後付けの理由です。なのでこのマーケットが落ち着くのはそれらのポジションが全部整理されたときでしょう。この下げでほとんどのポジションは整理されたと思いますが、大幅な値動きが与えた「不安」はまだ神経質な値動きにつながるかもしれません。筆者が心配するのは、裁定取引を主となす銀行などがボラティリティの大きさのためにポジションを縮小し、マーケットの流動性が減少することです。それによりさらにボラティリティが高まるという悪循環が心配です。しばらくはもう少し狭いレンジでの取引になればよいのですが。ポジション整理が終わればまた上昇というのは変わらないと思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

この貴金属全体のボラティリティはシルバーがその根源。5日の90ドルから70ドル台への大きな下げは中国の投資家のSHFEにおける巨大な売りショートセリングが原因。（取引所により調査されているようです。）その後金曜日には64ドルまで下落のあと78ドルまで戻して一週間が終わりました。120ドルまで上げすぎの反動もあります。投資家が一挙に参入していただけないようなポジションの整理まで神経質な相場が続くそうです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

「プラチナの現状」

プラチナもシルバーと同じような動きになっています。これはまさにシルバーの影響と言ってよいでしょう。基本貴金属すべてがシルバーの動きに従っています。シルバーとプラチナはボラティリティが大きな分、上昇を追うよりも極端に下がったところを買うというのが長期投資家としてはよい戦略ではないかと思えます。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで